

# 4. ティーチング・フェロー育成プログラム

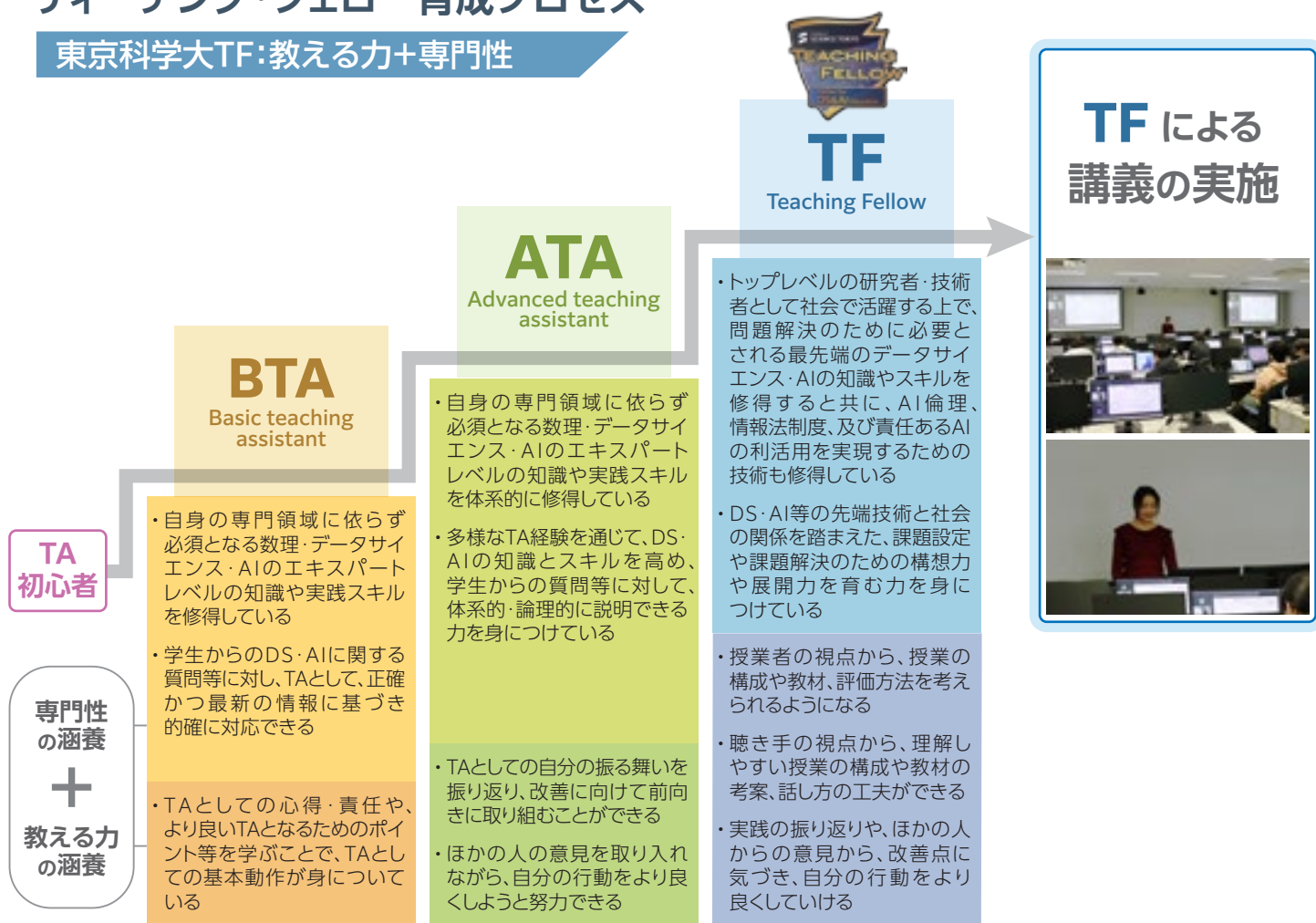
## 4.1. TF育成プログラムの概要

「共創型エキスパート」人材に不可欠な「DS・AIを教えることのできる」能力を涵養するため、ティーチング・フェロー(TF)育成プログラムを実施しています。本プログラムは、高度な専門性を学びながら、TA(ティーチング・アシスタント)として「教える力」を磨き、最終的には授業の一部を担当できるレベルにまで育成するものであり、教育能力の開発および向上支援を行っている教育革新センターと連携して進めています。最終段階のTF認定者には、オープンバッジを発行します。

2026年3月31日現在、BTA(ベーシック・ティーチング・アシスタント)21名、ATA(アドバンスト・ティーチング・アシスタント)5名、TF(ティーチング・フェロー)6名を認定しています。

## ティーチング・フェロー育成プロセス

東京科学大TF:教える力+専門性



模擬講義の様子



TAによる授業補助

## 4.2. TF育成プログラム修了生による講義

2025年11月5日、学士課程2年次向け科目「応用基礎データサイエンス・AI第二」において、本プログラムを修了した博士後期課程学生が初めて講義を担当しました。続く12月17日にも、別の修了生による講義が行われました。登壇した2名の学生は、担当教員と入念な準備を重ね、自身の専門研究の知見を交えるなど講義構成を工夫して取り組みました。受講生からは「大変わかりやすい」と高く評価されました。本取組は日刊工業新聞にも取り上げられるなど、学内外から大きな注目を集めています。現在も多くの学生が本プログラムに取り組んでおり、次年度も新たな修了生による講義実施を予定しています。



TF育成プログラム修了生による講義講義の様子



日刊工業新聞記事（2026年1月29日）

## 4.3. TAフォーラムの開催

1年に2度「TA(ティーチング・アシスタント)フォーラム」を、大岡山キャンパス会場とすずかけ台キャンパス会場をオンラインでつなぎ、ハイブリッド形式で開催しています。今年度は、2025年8月27日と2026年3月4日に実施しました。本フォーラムは、本機構採用のTA、教育革新センターの教員、本機構の教員が参加をし、TA業務についての事例共有やディスカッションを通じて、「教える力」の強化を図ること、および業務改善につながる情報を提供してもらうことを目的としています。受講者の理解度・満足度を上げるためには、どうしたらよいか、特に受講生のレベル差がある中で、多くの人が満足できる授業にするためにどのような工夫ができるのか、また、受講生が質問しやすい環境をどのように作るか等、より良い授業を作り上げるための活発なディスカッションが行われ、両日ともに充実したイベントとなりました。



TAフォーラム(8月27日)の様子



TAフォーラム(3月4日)の様子